

## 第12章 公害試料の検査、分析

### 第1節 大気関係にかかる検査、分析

府公害監視センターでは、昭和47年度中に工場の煙道排ガス中のばいじんおよび燃焼排ガス中のいおう酸化物の検査、分析ならびに府公害防止条例に規制基準が定められているアンモニア、アクロレイン、塩化水素等の有害ガス、鉛、マンガン等のふんじんおよび燃料中のいおう含有量の検査、分析を実施した。

これらのうちで特に重点的に実施したのは、浮遊ふんじん中の金属成分（鉄、マンガン、鉛、バナジウム等）および粒径分布ならびに自動車排出ガス中の浮遊ふんじん、鉛濃度等の検査である。

また、府下における植物影響調査の一環として黒松、ホウレン草等に含有されているいおう量等の分析を行なった。

昭和47年度における分析状況は表-130のとおりである。

表-130 大気関係分析検体数

(昭和47年度)

ばい煙	SO <sub>2</sub> +SO <sub>3</sub>	燃 料	有害ガス	ふんじん	その他	計
34	27	1,851	1,651	3,038	642	7,243

(注) 1 その他とは未規制項目をいう。

2 堺分室における分析数を含む。

## 第2節 水質関係にかかる検査、分析

府公害監視センターでは、工場排水の検査、分析および工場排水による土壌、農作物の金属、PCB汚染を調査するために採取した検体の検査、分析を実施した。

### 1 水質検査、分析業務

昭和47年度には表-131に示すとおり、5,580項目の検査、分析を実施した。

これを項目別に分類すると表-132のとおりである。

表-131 水質関係分析項目数 (昭和47年度)

有害項目	一般項目	その他の項目	合計
1,034	3,782	764	5,580

- (注) 1 有害項目および一般項目は、表-132に示す有害項目および一般項目をいう。  
2 その他の項目とは未規制項目をいう。

表-132 項目別検体数 (昭和47年度)

有害項目	一般項目						
カドミウム	285	水素イオン濃度	1,056	鉄(溶解性)	96	※濁度	16
シアン	309	B O D	333	マンガン(溶解性)	49	※一般細菌数	5
有機リン	—	C O D	461	クロム	214	※ニッケル	48
鉛	141	浮遊物質	647	弗素	26	※溶存酸素	96
6価クロム	249	オイル	550	※透視度	168	※NH <sub>4</sub> -N	36
ヒ素	30	フェノール	37	※色相	167	※P C B	45
有機水銀	6	銅	123	※臭気	167	※T O C	7
総水銀	14	亜鉛	169	※アルミニウム	—	※T O D	5
		大腸菌群数	21	※硼素	—	※I C	4

- (注) 1 ※印は、未規制項目をいう。  
2 堺分室における分析項目数を含む。

## 2 カドミウム汚染特別調査に伴う検査

池田市およびその周辺農地の収穫米からカドミウムが検出され、その実態調査を行なうため試料の採取を行なった。これらの検体数は表-133 のとおりである。

表-133 カドミウム関係検体数

水(河川水、井戸水)	土(底質、土壌)	米(玄米)	合計
5	31	141	177

## 3 PCB環境汚染調査に伴う検査

豊中市の松下電器産業(株)進相コンデンサー工場の排水口から高濃度のPCBが検出されたので、その周辺の底質、米等について検査を実施した(表-134)。

表-134 PCB関係検体数

土(底質、土壌)	米(玄米)	合計
33	12	45

### 第3節 騒音・振動にかかる検査、分析

府公害監視センターでは規制基準、環境基準、自動車騒音の限度の適否の判定および改善指導に必要な騒音・振動の解析、周波数分析ならびに吸・遮音材の効果測定を実施した。

また、この他航空機騒音、鉄軌道騒音の周波数分析および解析、規制基準改正のための資料の基礎分析等も実施した。

昭和47年度には表-135に示すとおり1740検体の検査、分析を実施した。

表-135 騒音振動関係検体数

(昭和47年度)

検 体 数		分 析 内 容	
騒音分析	1,541	鉄軌道騒音分析 681 航空機騒音分析 322 工場騒音分析 100	臨海工業地域騒音分析 322 自動車騒音分析 116
振動分析	142	新幹線振動分析 60 自動車振動分析 37	工場振動分析 45
その他の	57	吸・遮音材特性 30	振動計の較正 27